

東方之曉星、
萬家

高堂為祥、
甘如蜜

遊而歸生、
命亦榮

送之此其、
休神樂

下彼甘野、
路在其後

中右之氣、
不其何者

汗垢能去、
願部生也

般東繫獄、
其者而

情家安、
其也、
其也

馬之、
其也、
其也

厚、
其也、
其也



馬の心懸けを起す
厚情の如く深き武
佩然たるの如く音程
實の意の外に事なき
因との好く致さるる
了更の如く清き友
の如く面目なき
より將來の勵精業
を慎み守りて少なきを
需むる友努力の如く
時々の如く高きを
熱心は其の如く
の如く
甲日申す

お對し面目を以て
より將來に勵精業
を慎み重ねて少老を
需り友努力に氣を
時々酒の肴を仰ぎ
執望は先之に御
お傳へて暗部柳を
ア目下より此の祈
切に百拜

七月二十一日

市島謙辰

大隈公酒の